

第43回
府中市市政世論調査
(概要版)



平成23年
府中市

< 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の属性	2
住み心地	3
■府中市は住みよいところだと感じるか	3
住まいの環境	4
■身近な住まいの環境についての率直な感想	4
生活の満足度	5
■現在の生活にどの程度満足しているか	5
定住意向	6
■今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
市政に対する関心度	7
■市政にどの程度関心を持っているか	7
市への要望	8
■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
府中市総合計画	10
■府中市総合計画を知っているか	10
■新たな総合計画が作成されたときその内容を知りたいか	10
■知りたい理由（計画内容を知りたいと答えた人）	11
■知りたくない理由（計画内容を知りたくないと答えた人）	11
災害への備え	12
■自宅で被災した場合、誰が助けてくれると思うか	12
■災害発生時の避難方法	12
■災害時の情報収集手段として利用したことのあるもの	13
消防団	14
■消防団について知っていること	14
道路等基盤施設の状況	15
■公共施設の管理状態についての満足度	15
■管理状態に不満を感じる理由	15
緑地の保全と緑化の推進	16
■周辺自治体と比較した府中市内の緑の量について	16
■緑の果たす役割として期待するもの	16
■周辺自治体と比較した府中市内の公園について	17
■ふだんの公園の利用目的	17
■府中市の緑地保全、緑化事業及び制度で知っているもの	18
■自宅の緑化で協力できる活動	19
■公園管理で協力できる活動	20
■緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと	21

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 43 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「府中市総合計画」「災害への備え」「消防団」「道路等基盤施設の状況」「緑地の保全と緑化の推進」についてお聞きしました。

本書は、調査結果の一部をまとめた概要版です。

ご協力いただきました市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

調査の方法

調査の地域	： 府中市全域
調査対象者	： 府中市在住の満 20 歳以上の男女
標本数	： 1,000 人
抽出方法	： 地点を用いた二段抽出法 (住民基本台帳の登録人口を 11 の文化センター地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
調査方法	： 面接聴取法
調査期間	： 平成 23 年 7 月 1 日(金)～平成 23 年 8 月 14 日(日)
有効回収数(率)	： 835(83.5%)

調査の内容

1. 住み心地	〈第 43 回特設設問〉
2. 住まいの環境	7. 府中市総合計画
3. 生活の満足度	8. 災害への備え
4. 定住意向	9. 消防団
5. 市政に対する関心度	10. 道路等基盤施設の状況
6. 市への要望	11. 緑地の保全と緑化の推進

注意事項

本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

(1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。

(2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。

回答者の属性

有効回答数835件の属性別回答者数と構成比を表します。

[性別]

	回答者数	構成比(%)
男性	409	49.0
女性	426	51.0
(無回答)	0	0.0

[職業]

	回答者数	構成比(%)
事務職	82	9.8
専門・技術職	169	20.2
労務・サービス職	89	10.7
役員・管理職	38	4.6
商・工・サービス業	33	4.0
自由業	28	3.4
農林漁業	1	0.1
内職・パート・フリーター	87	10.4
主婦(家事専業)	151	18.1
学生	22	2.6
無職	99	11.9
(無回答)	36	4.3

[未婚・既婚]

	回答者数	構成比(%)
未婚	231	27.7
既婚(離別・死別含む)	570	68.3
(無回答)	34	4.1

[ライフステージ]

	回答者数	構成比(%)
独身期	146	17.5
家族形成期	77	9.2
家族成長前期	93	11.1
家族成長後期・家族成熟期	107	12.8
高齢期	87	10.4
高齢者世帯	97	11.6
その他	164	19.6
(無回答)	64	7.7

[年齢]

	回答者数	構成比(%)
20~29歳	116	13.9
30~39歳	138	16.5
40~49歳	189	22.6
50~59歳	116	13.9
60~69歳	141	16.9
70歳以上	135	16.2
(無回答)	0	0.0

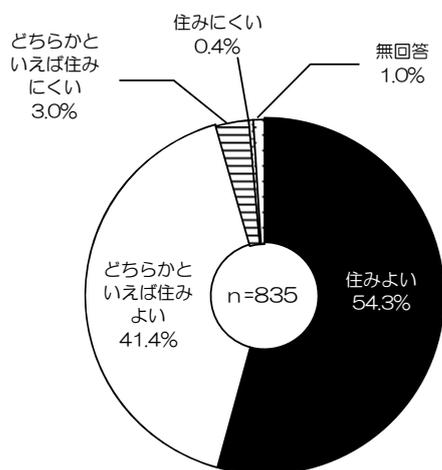
[地区]

	総人口	対象者数	調査数	回答率	回答者数	構成比(%)
紅葉丘文化センター	23,004	18,368	90	83.3	75	9.0
白系台文化センター	29,004	23,940	120	85.8	103	12.3
押立文化センター	8,273	6,594	30	80.0	24	2.9
是政文化センター	24,581	19,800	100	77.0	77	9.2
住吉文化センター	26,285	21,155	100	86.0	86	10.3
片町文化センター	28,735	24,206	120	86.7	104	12.5
中央文化センター	37,195	31,158	141	83.0	117	14.0
新町文化センター	28,026	22,623	109	85.3	93	11.1
武蔵台文化センター	16,441	13,553	70	80.0	56	6.7
西府文化センター	17,675	14,028	70	87.1	61	7.3
四谷文化センター	12,761	10,035	50	78.0	39	4.7
総計	251,980	205,460	1,000	83.5	835	100.0

住み心地

■府中市は住みよいところだと感じるか (n=835)

半数以上が「住みよい」と感じ、「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが「府中市は住みよい」と感じている。



「住みよい」(54.3%)、「どちらかといえば住みよい」(41.4%)を合わせた『住みよいと感じる割合』は、9割半ば(95.7%)にのぼる。

また、「住みにくい」(0.4%)、「どちらかといえば住みにくい」(3.0%)を合わせた『住みにくいと感じる割合』は3.4%にとどまっている。

図1 住み心地

『住みよいと感じる割合』は、年齢別では「70歳以上」が最も高く、「40～49歳」が最も低い。

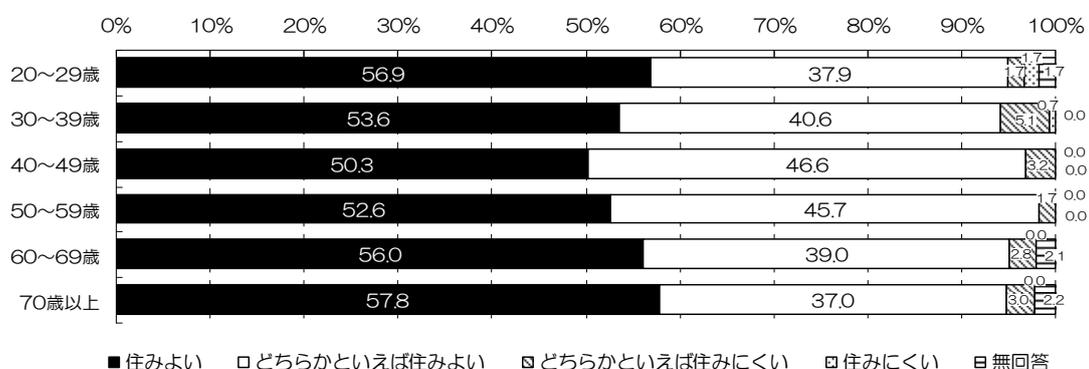


図2 住み心地(年齢別)

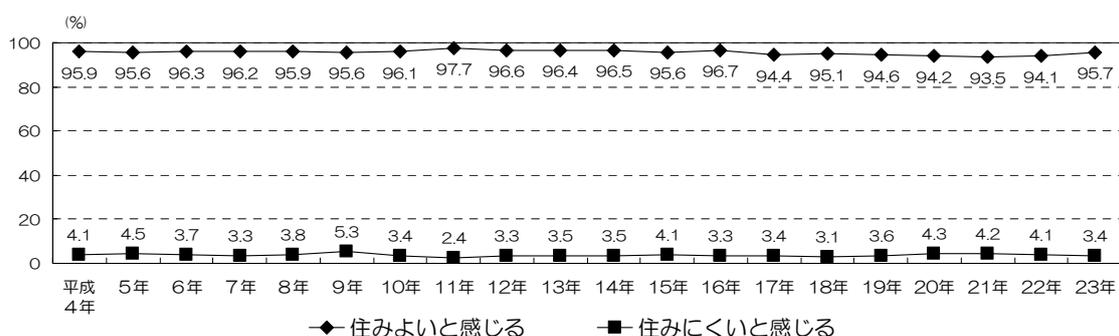


図3 経年別推移

住まいの環境

■身近な住まいの環境についての率直な感想 (n=835)

「緑の豊かさ」「排水の便」「交通の便」「風通し、日当たり」「日常の買い物の便」「公共施設」については7割以上が『非常によい』『まあよい』と感じている。一方、「騒音や振動の防止」「日常の買い物の便」「蚊やハエの発生の防止」の順で『あまりよくない』『非常に悪い』と感じる割合が高い。

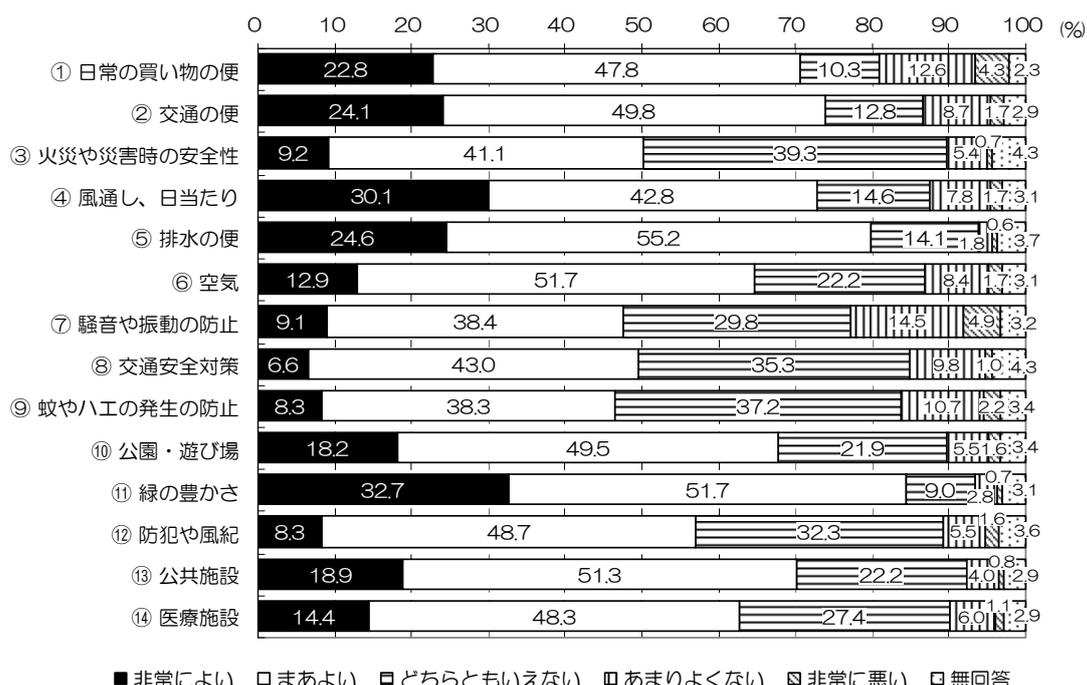


図4 身近な住まいの環境についての感想

順位	住まいの環境	非常によいまたはまあよい (%)
1位	⑪ 緑の豊かさ	84.4
2位	⑤ 排水の便	79.8
3位	② 交通の便	73.9
4位	④ 風通し、日当たり	72.9
5位	① 日常の買い物の便	70.6
6位	⑬ 公共施設	70.2
7位	⑩ 公園・遊び場	67.7
8位	⑥ 空気	64.6
9位	⑭ 医療施設	62.7
10位	⑫ 防犯や風紀	57.0
11位	③ 火災や災害時の安全性	50.3
12位	⑧ 交通安全対策	49.6
13位	⑦ 騒音や振動の防止	47.5
14位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	46.6

表1 『よい』と感じる割合の順

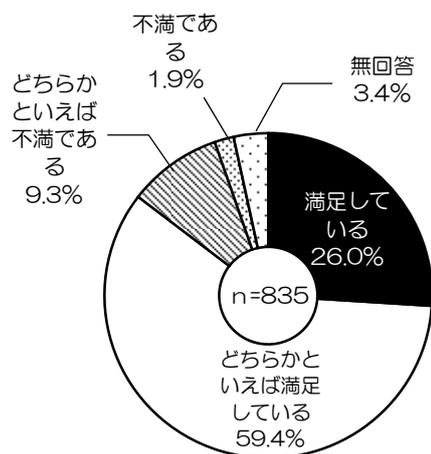
順位	住まいの環境	あまりよくないまたは非常に悪い (%)
1位	⑦ 騒音や振動の防止	19.4
2位	① 日常の買い物の便	16.9
3位	⑨ 蚊やハエの発生の防止	12.9
4位	⑧ 交通安全対策	10.8
5位	② 交通の便	10.4
6位	⑥ 空気	10.1
7位	④ 風通し、日当たり	9.5
8位	⑩ 公園・遊び場	7.1
9位	⑫ 防犯や風紀	7.1
10位	⑭ 医療施設	7.1
11位	③ 火災や災害時の安全性	6.1
12位	⑬ 公共施設	4.8
13位	⑪ 緑の豊かさ	3.5
14位	⑤ 排水の便	2.4

表2 『悪い』と感じる割合の順

生活の満足度

■現在の生活にどの程度満足しているか (n=835)

「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、8割半ばが『生活に満足している』と感じている。



「満足している」(26.0%), 「どちらかといえば満足している」(59.4%)を合わせた『生活に満足していると感じる割合』は、8割半ば(85.4%)にのぼる。

また、「不満である」(1.9%), 「どちらかといえば不満である」(9.3%)を合わせた『生活に不満を感じる割合』は、約1割(11.2%)である。

図5 生活の満足度

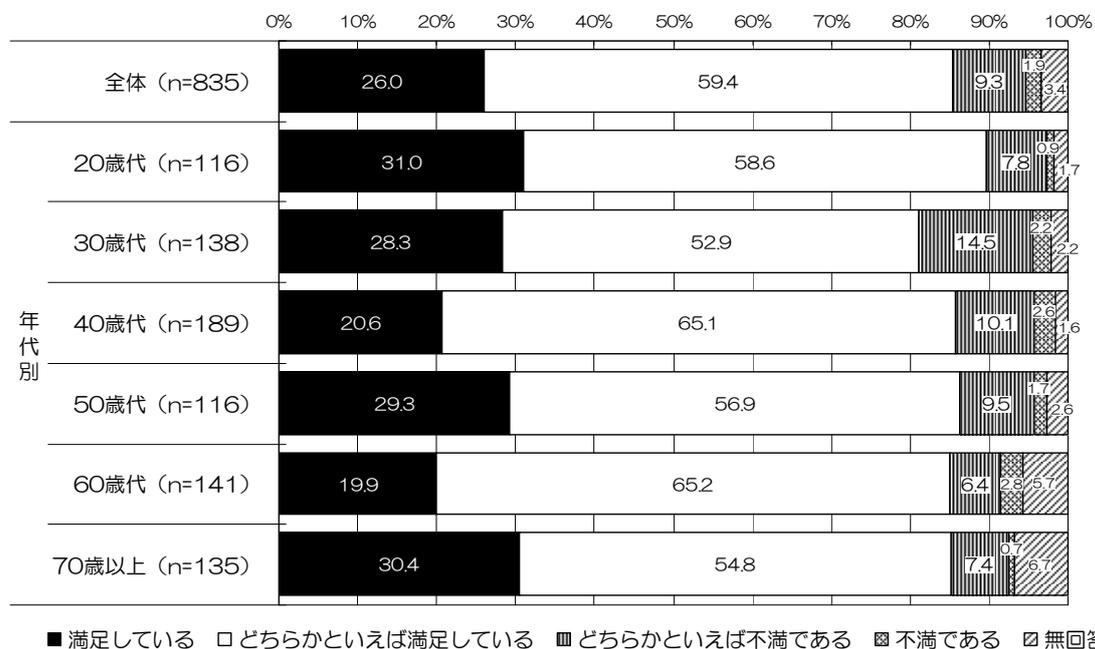
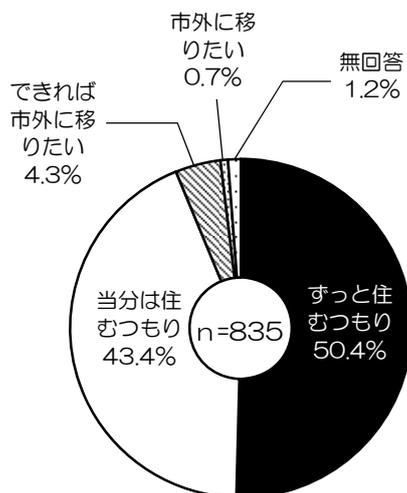


図6 年代別の生活の満足度

定住意向

■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか (n=835)

「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が「今後も府中市に住み続けたい」と感じている。



「ずっと住むつもり」(50.4%)、「当分は住むつもり」(43.4%)を合わせた『今後も府中市に住み続けたいと感じる割合』は、9割以上(93.8%)にのぼる。

また、「市外に移りたい」(0.7%)、「できれば市外に移りたい」(4.3%)を合わせた『市外に移り住みたいと思っている割合』は、5.0%である。

図7 定住の意向

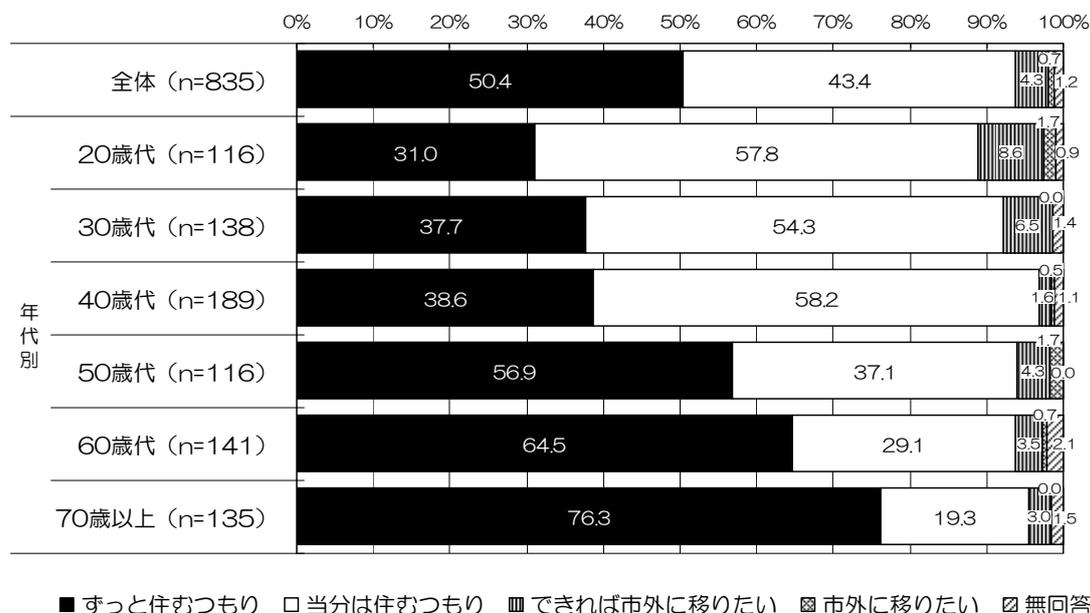
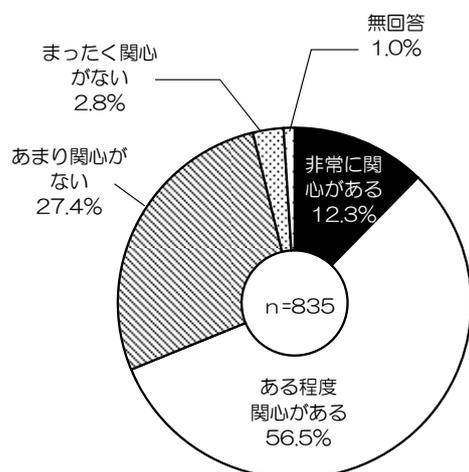


図8 年代別の定住の意向

市政に対する関心度

■ 市政にどの程度関心を持っているか (n=835)

7割近くが市政に関心を持っている。



「非常に関心がある」(12.3%)、「ある程度関心がある」(56.5%)を合わせた『市政に関心がある』割合は68.8%で、7割近くが市政に関心を持っている。

一方、『市政に関心がない』は、「まったく関心がない」(2.8%)、「あまり関心がない」(27.4%)を合わせた30.2%である。

図9 市政に対する関心度

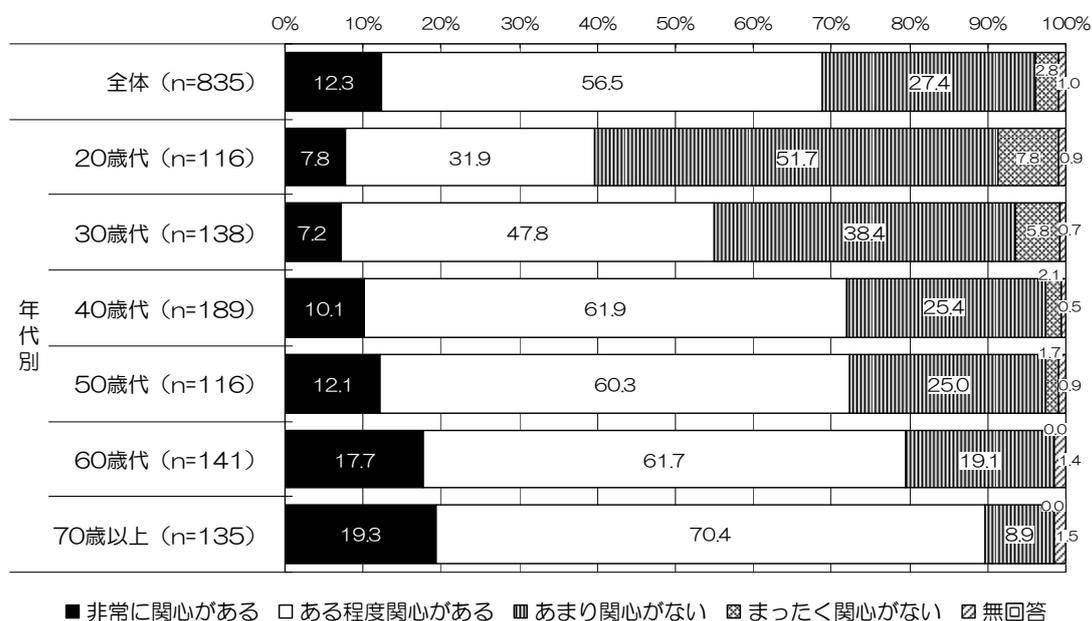


図10 市政に対する関心度(年代別)

市への要望

■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと（n=835：複数回答）

市への要望として、「高齢者福祉対策」(34.4%)「防犯・風紀対策」(26.7%)の順に高くなっている。これらに続いて「清掃・環境整備対策」(18.1%)「市民の健康管理対策」(17.0%)「消防・防災対策」(16.4%)の順となっている。

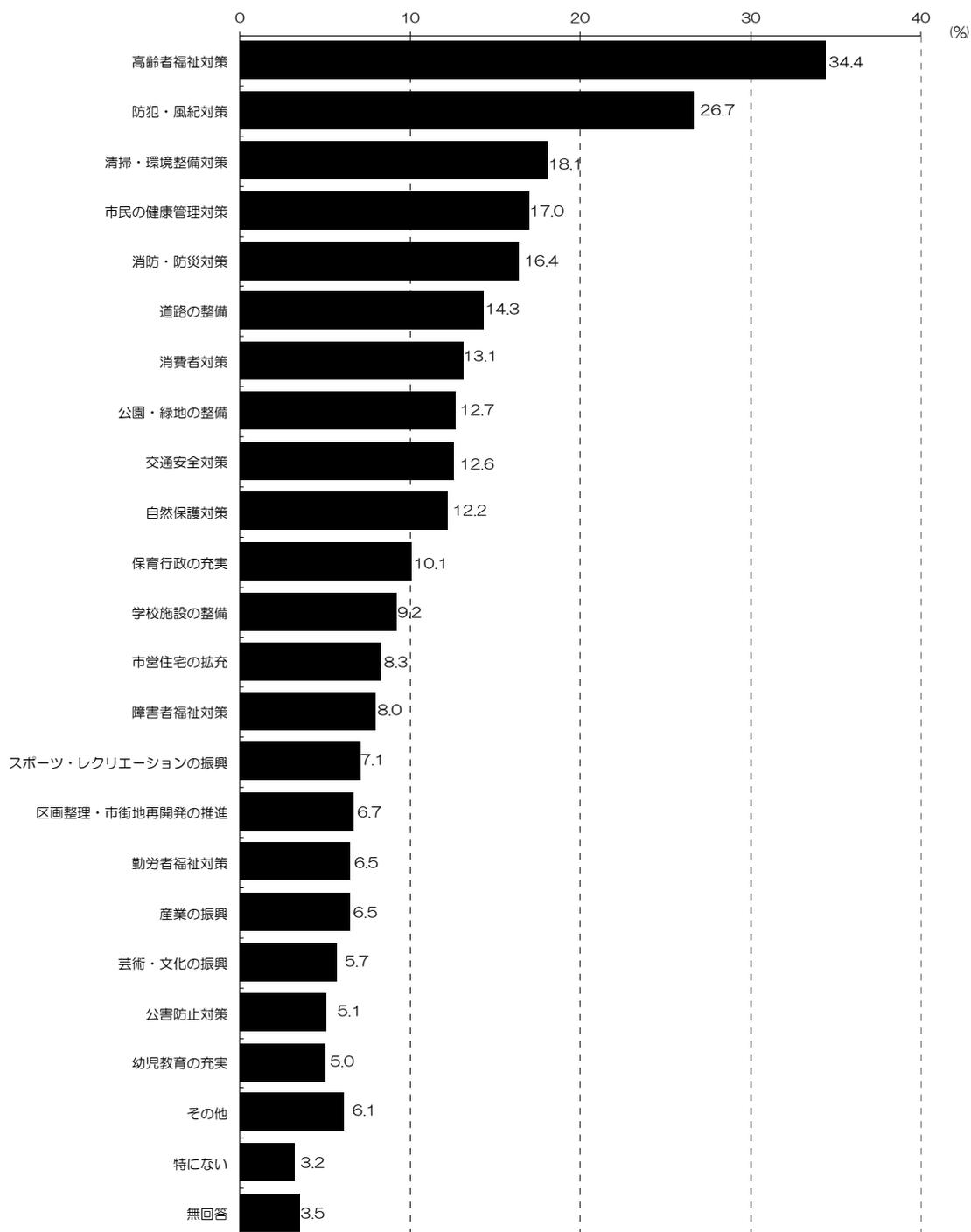


図 11 市への要望

上位5項目について平成14年度からの順位変動を見ると、今年度1位の「高齢者福祉対策」は平成17年度以外常に1位となっている。「防犯・風紀対策」は、17年度から新たに加えられ、常に上位となっている。3位の「清掃・環境整備対策」もほぼ毎年上位5項目に含まれている。「市民の健康管理対策」は、去年は2位となっていたが4位になっている。「消防・防災対策」は今まで上位5項目に入っていなかったが、今回5位となっている。

	n	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年	835	高齢者福祉対策 34.4%	防犯・風紀対策 26.7%	清掃・環境整備対策 18.1%	市民の健康管理対策 17.0%	消防・防災対策 16.4%
22年	889	高齢者福祉対策 43.5%	市民の健康管理対策 27.0%	防犯・風紀対策 21.9%	清掃・環境整備対策 19.6%	自然保護対策/ 消費者対策 15.7%
21年	881	高齢者福祉対策 42.0%	防犯・風紀対策 27.0%	清掃・環境整備対策 26.6%	市民の健康管理対策 20.0%	消費者対策 16.1%
20年	889	高齢者福祉対策 42.2%	防犯・風紀対策 30.6%	清掃・環境整備対策 25.8%	市民の健康管理対策 18.3%	消費者対策 15.3%
19年	892	高齢者福祉対策 41.8%	清掃・環境整備対策 32.0%	防犯・風紀対策 31.8%	市民の健康管理対策 16.1%	消費者対策 12.4%
18年	882	高齢者福祉対策 42.7%	防犯・風紀対策 34.5%	清掃・環境整備対策 17.6%	市民の健康管理対策 14.5%	自然保護対策 13.5%
17年	851	防犯・風紀対策 42.1%	高齢者福祉対策 38.1%	清掃・環境整備対策 17.3%	市民の健康管理対策 15.7%	道路の整備 13.2%
16年	876	高齢者福祉対策 38.5%	市民の健康管理対策 20.1%	清掃・環境整備対策 18.0%	自然保護対策 17.6%	交通安全対策 16.1%
15年	848	高齢者福祉対策 42.2%	市民の健康管理対策 20.8%	清掃・環境整備対策 16.3%	道路の整備/交通安全対策 15.9%	
14年	870	高齢者福祉対策 40.0%	清掃・環境整備対策 19.3%	自然保護対策 17.4%	市民の健康管理対策/交通安全対策 17.2%	

表3 経年推移（上位5位）

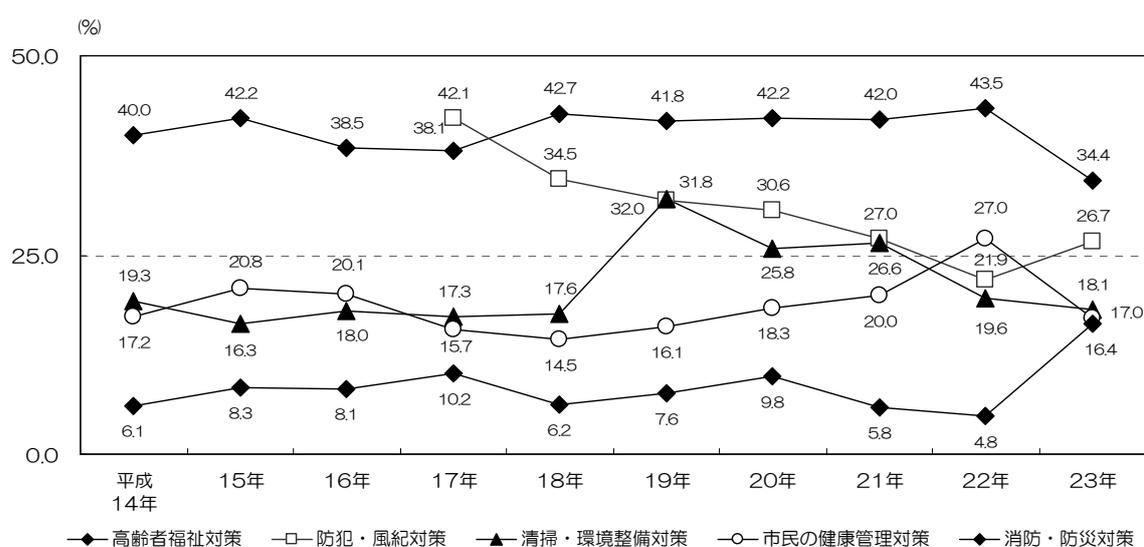
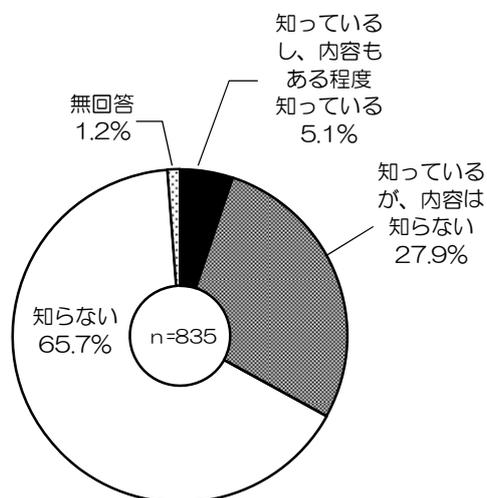


図12 経年推移(上位5位)

府中市総合計画

■府中市総合計画を知っているか (n=835)

『府中市総合計画』を「知らない」が6割半ばを占めている。



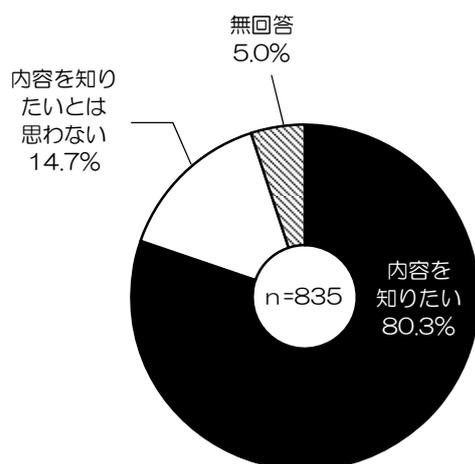
『府中市総合計画』を「知らない」(65.7%)が6割半ばを占めている。

一方、「知っているし、内容もある程度知っている」(5.1%)「知っているが、内容は知らない」(27.9%)を合わせた『府中市総合計画』を「知っている」割合は33.0%となっている。

図 13 総合計画

■新たな総合計画が作成されたときその内容を知りたいか (n=835)

8割以上が新たな『府中市総合計画』の内容を知りたいと思っている。



「内容を知りたい」が80.3%、「内容を知りたいとは思わない」は14.7%となっている。

図 14 新たな総合計画の内容を知りたいか

■ 知りたい理由（計画内容を知りたいと答えた人）（n=670）

知りたい理由として「府中市に住んでいくうえで必要なことだから」が8割近くを占めている。

[n=670]

内容を知りたい理由	回答数	割合(%)
府中市に住んでいくうえで必要なことだから	527	78.7
行政の考えることだけでは不安があり、内容を確認する必要があるから	69	10.3
府中市政の運営方針に関心があるから	54	8.1
その他	16	2.4
（無回答）	4	0.6

表4 総合計画の内容を知りたい理由

■ 知りたくない理由（計画内容を知りたくないと答えた人）（n=123）

知りたくない理由として「内容を知っても意味がないから」「府中市政の運営方針に関心がないから」「行政のつくる資料は読みづらいから」の順になっている。

[n=123]

内容を知りたくない理由	回答数	割合(%)
内容を知っても意味がないから	33	26.8
府中市政の運営方針に関心がないから	31	25.2
行政のつくる資料は読みづらいから	27	22.0
自分には関係がないから	20	16.3
その他	9	7.3
（無回答）	3	2.4

表5 総合計画の内容を知りたくない理由

災害への備え

- 自宅で被災した場合、誰が助けしてくれると思うか (n=835：複数回答)
6割半ばが、災害時に頼りにしているものとして「自分自身」「同居の家族」としている。

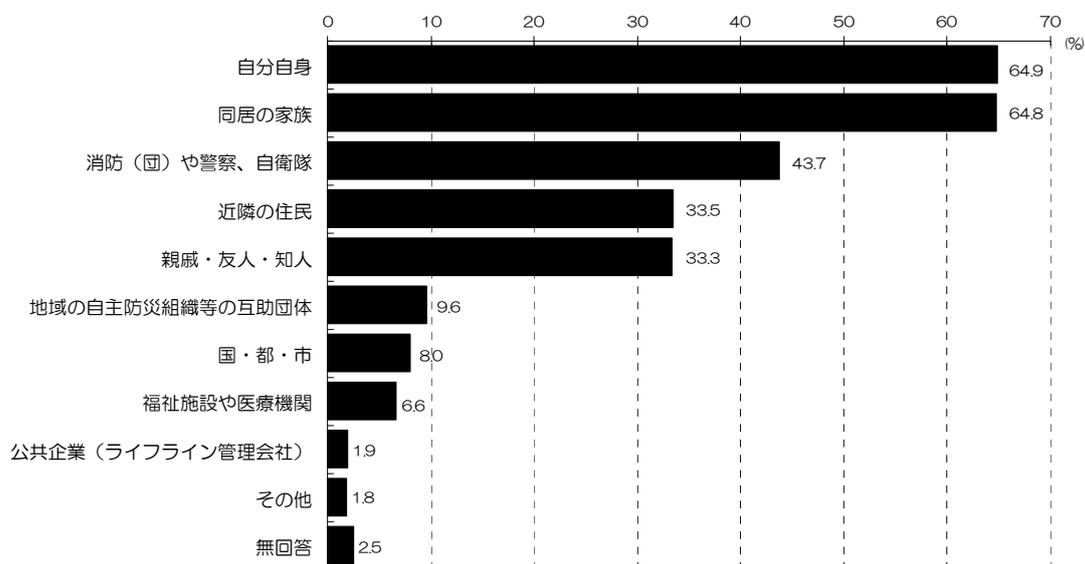


図 15 自宅で被災した場合誰が助けしてくれると思うか

6割半ばが、災害時に頼りにするものとして「自分自身」(64.9%)「同居の家族」(64.8%)を挙げている。続いて、「消防(団)や警察、自衛隊」(43.7%)「近隣の住民」(33.5%)「親戚・友人・知人」(33.3%)の順になっている。

- 災害発生時の避難方法 (n=835：複数回答)

「避難所」がどこにあるかを知っているのは全体の3割にとどまっている。

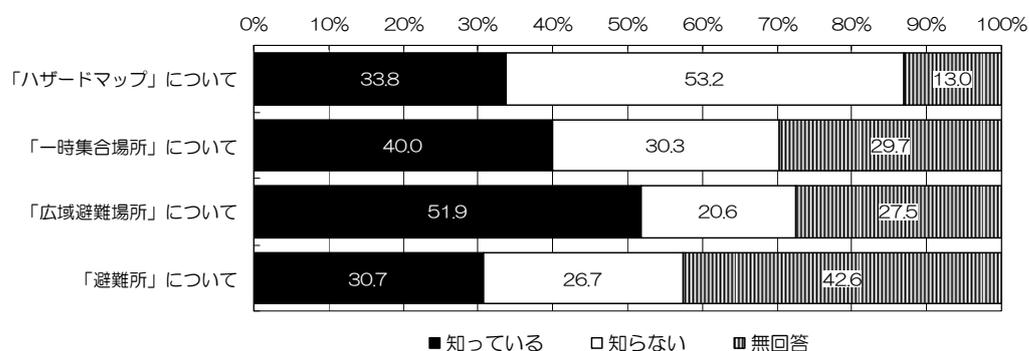


図 16 災害発生時の避難方法

■災害時の情報収集手段として利用したことのあるもの（n=835：複数回答）

9割半ばが災害時の情報手段にテレビを利用している。情報収集にパソコンや携帯電話を利用している割合も約4割にのぼる。

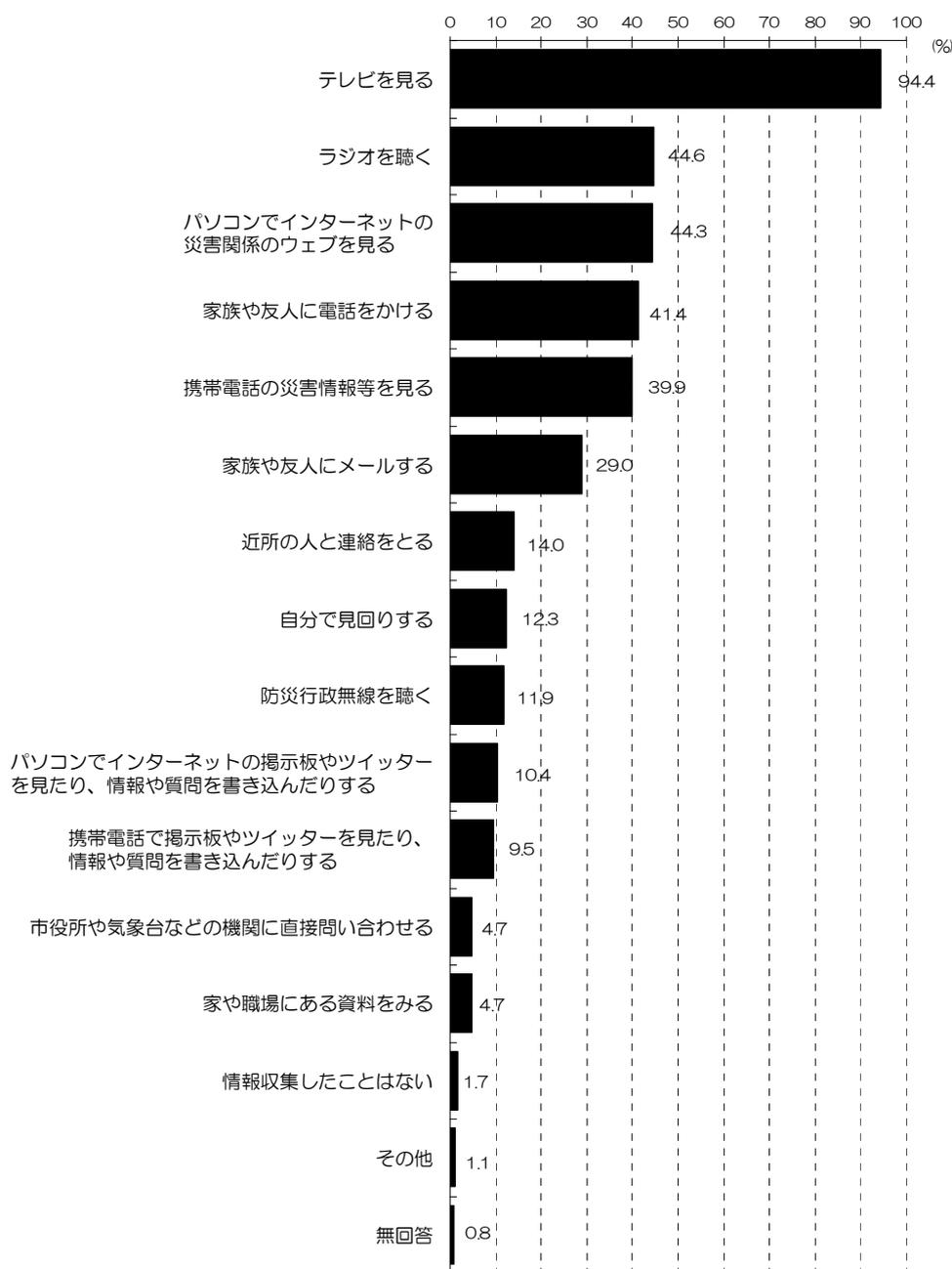


図 17 災害時の情報収集手段

情報収集手段として利用頻度が多い順に、「テレビを見る」(94.4%)「ラジオを聴く」(44.6%)「パソコンでインターネットの災害関係のウェブを見る」(44.3%)「家族や友人に電話をかける」(41.4%)「携帯電話の災害情報等を見る」(39.9%)「家族や友人にメールする」(29.0%)となっている。

消防団

■ 消防団について知っていること (n=835：複数回答)

消防団、消防団活動について、何らかの形で「知っている」が多数あり、「名前しか知らない」(15.9%)「全く知らない」(4.8%)を合わせた『消防団の活動について知らない割合』は約2割にとどまる。

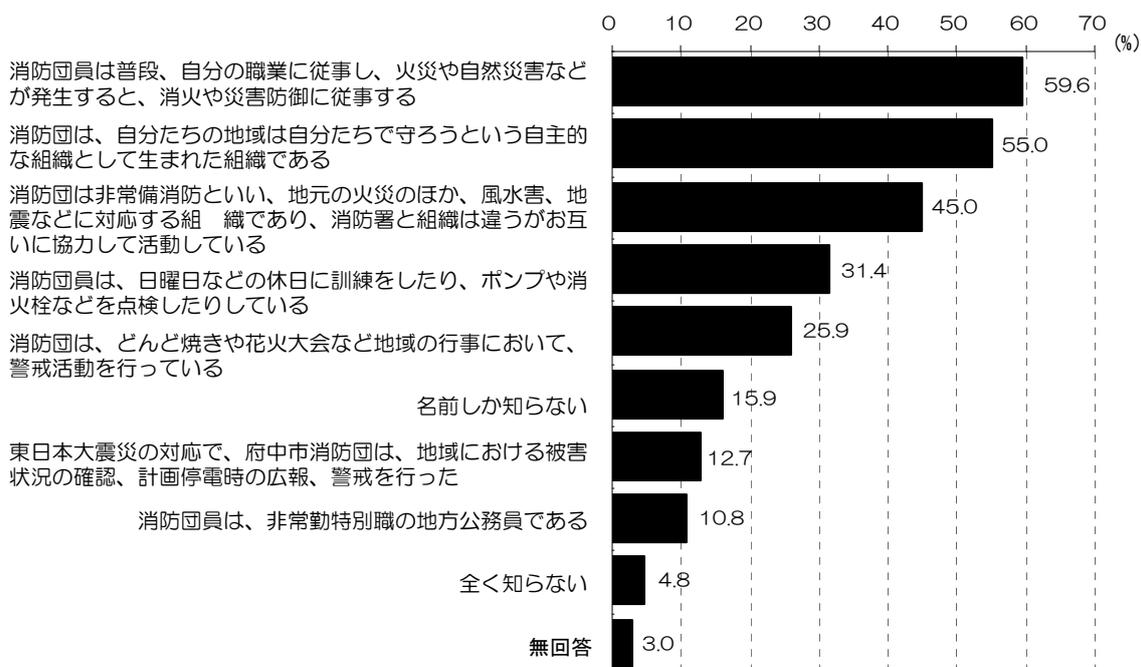


図 18 消防団について知っていること

[n=835]

消防団について知っていること	回答数	割合 (%)
消防団員は普段、自分の職業に従事し、火災や自然災害などが発生すると、消火や災害防御に従事する	498	59.6
消防団は、自分たちの地域は自分たちで守ろうという自主的な組織として生まれた組織である	459	55.0
消防団は非常備消防といい、地元の火災のほか、風水害、地震などに対応する組織であり、消防署と組織は違うがお互いに協力して活動している	376	45.0
消防団員は、日曜日などの休日に訓練をしたり、ポンプや消火栓などを点検したりしている	262	31.4
消防団は、どんど焼きや花火大会など地域の行事において、警戒活動を行っている	216	25.9
名前しか知らない	133	15.9
東日本大震災の対応で、府中市消防団は、地域における被害状況の確認、計画停電時の広報、警戒を行った	106	12.7
消防団員は、非常勤特別職の地方公務員である	90	10.8
全く知らない	40	4.8
(無回答)	25	3.0

表 6 消防団について知っていること

道路等基盤施設の状況

■ 公共施設の管理状態についての満足度 (n=835)

「公園・緑地」「道路舗装【車道】」については8割以上が管理状態に満足しているが、「道路舗装【歩道】」については約6割にとどまる。

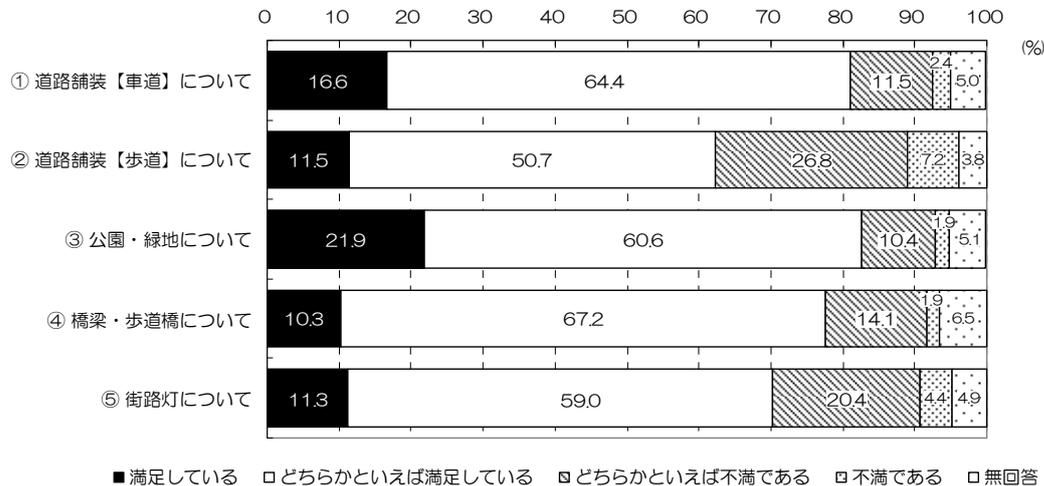


図 19 公共施設の管理状態についての満足度

公共施設の管理状態を満足と感じている割合(「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた値)は、「公園・緑地」「道路舗装【車道】」「橋梁・歩道橋」「街路灯」「道路舗装【歩道】」の順となっている。「道路舗装【歩道】」は3割半ば(34.0%)が不満と感じている。

■ 管理状態に不満を感じる理由 (n=436 複数回答)

管理状態に不満を感じる理由は、「【歩道】のひび割れや根上がり(樹木の根により舗装が盛り上がっている状態)が気になる」(42.7%)「街路灯の本数が少ない」(35.1%)の順である。

[n=436]

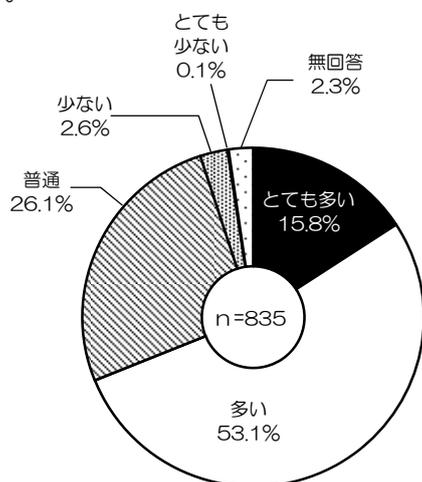
公共施設の管理状態が不満である理由	回答数	割合(%)
【歩道】のひび割れや根上がり(樹木の根により舗装が盛り上がっている状態)が気になる	186	42.7
街路灯の本数が少ない	153	35.1
街路灯の管理状態(電球切れなど)が気になる	96	22.0
【車道】の舗装状態(でこぼこしている、ひび割れしているなど)が気になる	85	19.5
橋梁・歩道橋の管理状態(でこぼこしている、ひび割れしているなど)が気になる	83	19.0
遊具などの公園施設の数や老朽化が気になる	68	15.6
公園・緑地の樹木の本数や剪定状況が気になる	59	13.5
【車道】の管理状態は過剰であると思う(節約すべきである)	26	6.0
【歩道】の管理状態は過剰であると思う(節約すべきである)	13	3.0
その他	131	30.0
(無回答)	16	3.7

表 7 管理状態に不満を感じる理由

緑地の保全と緑化の推進

■ 周辺自治体と比較した府中市内の緑の量について (n=835)

7割近くが緑が「多い」と感じている。緑が「少ない」と感じている割合は3%に満たない。



「とても多い」(15.8%)「多い」(53.1%)を合わせると7割近く(68.9%)が周辺自治体と比較して府中市内の緑の量は多いと感じている。「少ない」「とても少ない」を合わせた『緑が少ないと感じる割合』は3%に満たない。

図 20 府中市内の緑の量

■ 緑の果たす役割として期待するもの (n=835：複数回答)

緑に期待する役割として、6割半ばが、「心に安らぎをあたえる」としている。続いて5割前後が「街並みの景観を向上させる」「空気をきれいにする」を挙げている。

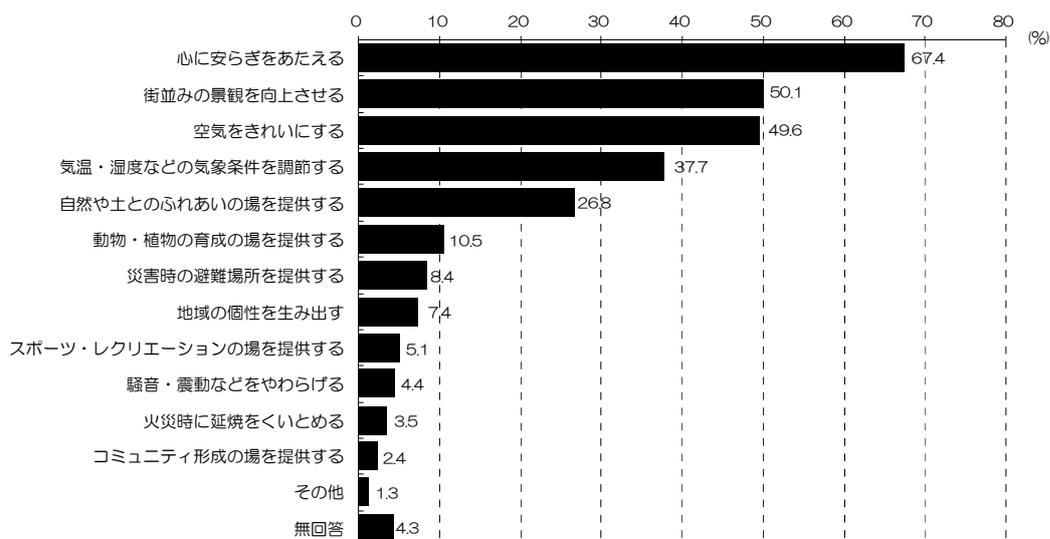


図 21 緑の果たす役割として期待するもの

■ 周辺自治体と比較した府中市内の公園について (n=835)

8割半ばが、「身近な公園の数」「公園の広さ」「樹木や草木などの多さ」について満足している。また、「清掃など美化の状況」「公園全体の安全性」「遊具の多さ」についても7割以上が満足と感じている。

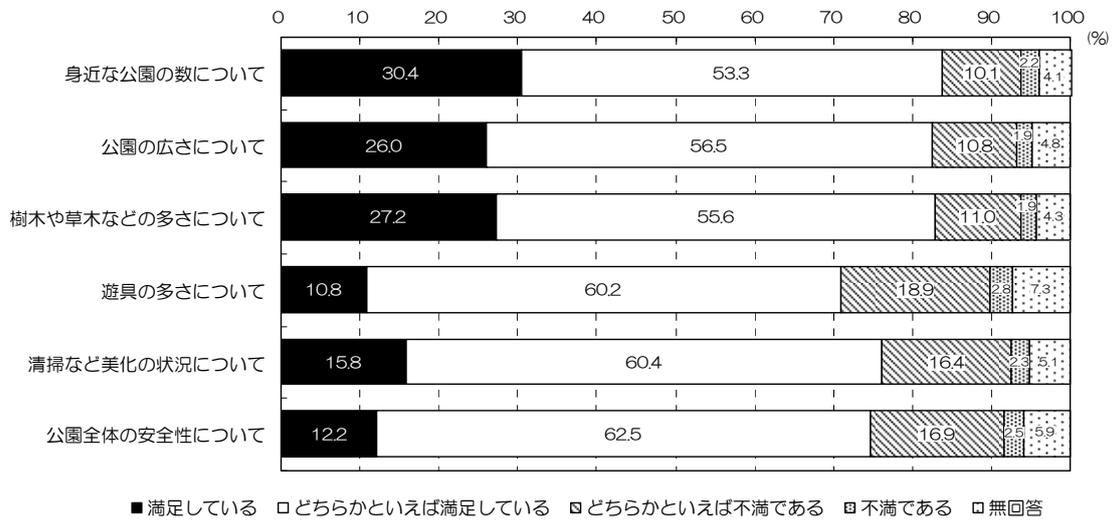


図 22 公園についての実感

■ ぶだんの公園の利用目的 (n=835：複数回答)

約6割が「散歩・ジョギング」(60.4%)で公園を利用している。以下、「雑談・休息」(29.9%)「付添い」(15.3%)「スポーツ」(11.7%)「遊具の利用」(11.6%)と続く。

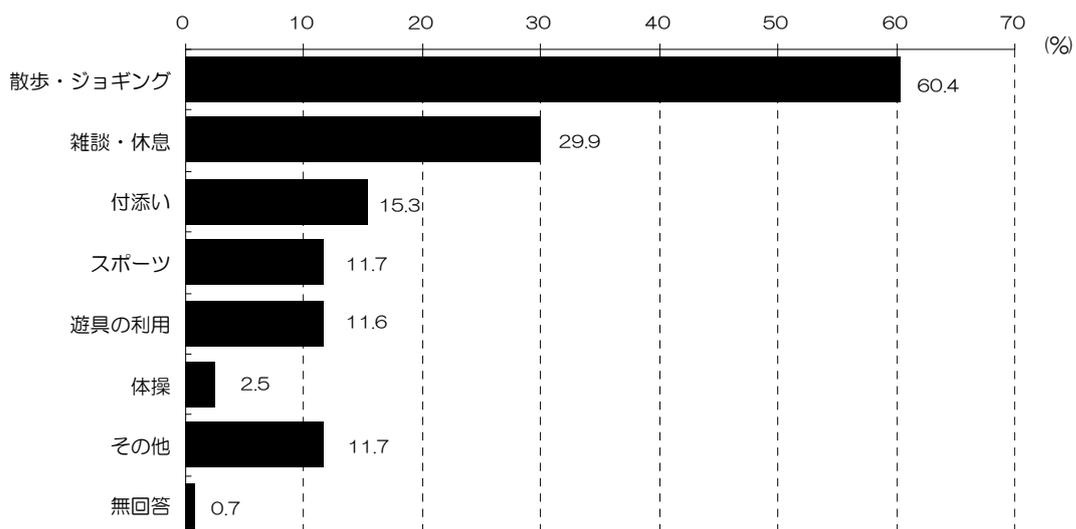


図 23 公園の利用目的

■ 府中市の緑地保全、緑化事業及び制度で知っているもの
(n=835:複数回答)

「蓮を観る会」(33.8%)「グリーンフェスティバル」(29.7%)については、3割前後が知っている。以下、「保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業」「市民花壇の設置」「落ち葉の銀行」と続く一方、「知っているものはない」も4割以上にのぼる。

[n=835]

緑地保全、緑化事業及び制度	回答数	割合(%)
蓮を観る会	282	33.8
グリーンフェスティバル	248	29.7
保存樹木、保存樹林、生垣造成の奨励金交付事業	131	15.7
市民花壇の設置	130	15.6
落ち葉の銀行	84	10.1
緑化相談、緑化講習会	59	7.1
環境週間の各種コンクール	41	4.9
知っているものはない	343	41.1
(無回答)	22	2.6

表8 緑地保全、緑化事業及び制度で知っているもの

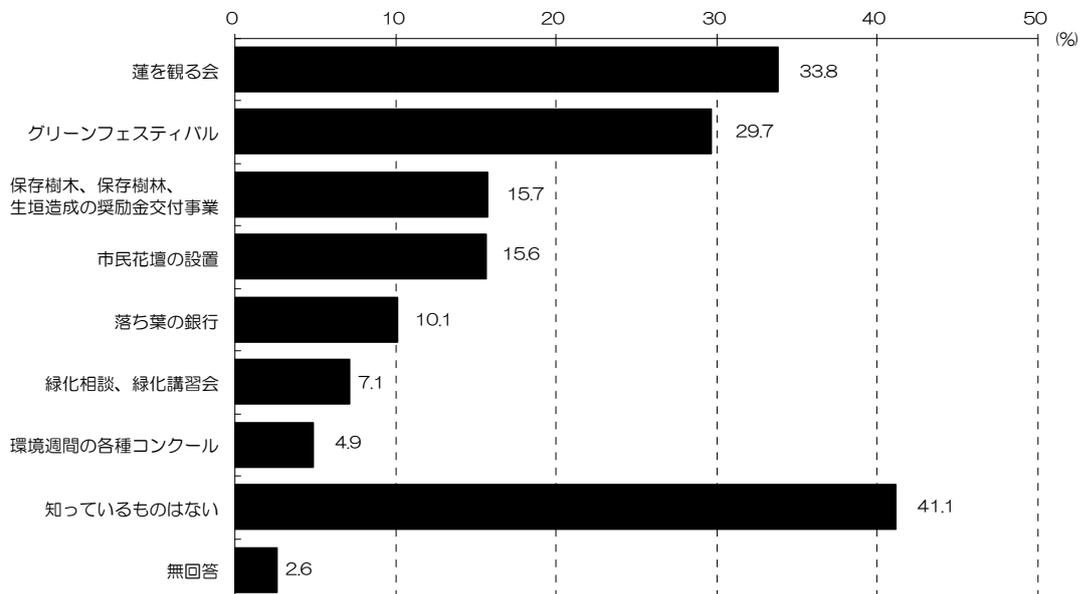


図24 緑地保全、緑化事業及び制度で知っているもの

■ 自宅の緑化で協力できる活動（n=835：複数回答）

市と市民の共働による緑化や公園づくりを進めるにあたり、7割半ばが「植木鉢やプランターで草花を育てることができる」としているほか、約3割が「その他敷地内で緑を育てることができる」としている。一方で、「できることはない」も1割半ばにのぼる。

[n=835]

自宅の緑化で協力できる活動	回答数	割合(%)
植木鉢やプランターで草花を育てることができる	636	76.2
その他敷地内で緑を育てることができる	256	30.7
生け垣を設置することができる	66	7.9
壁面を緑化することができる	36	4.3
屋上を緑化することができる	26	3.1
できることはない	127	15.2
(無回答)	32	3.8

表9 自宅の緑化で協力できる活動

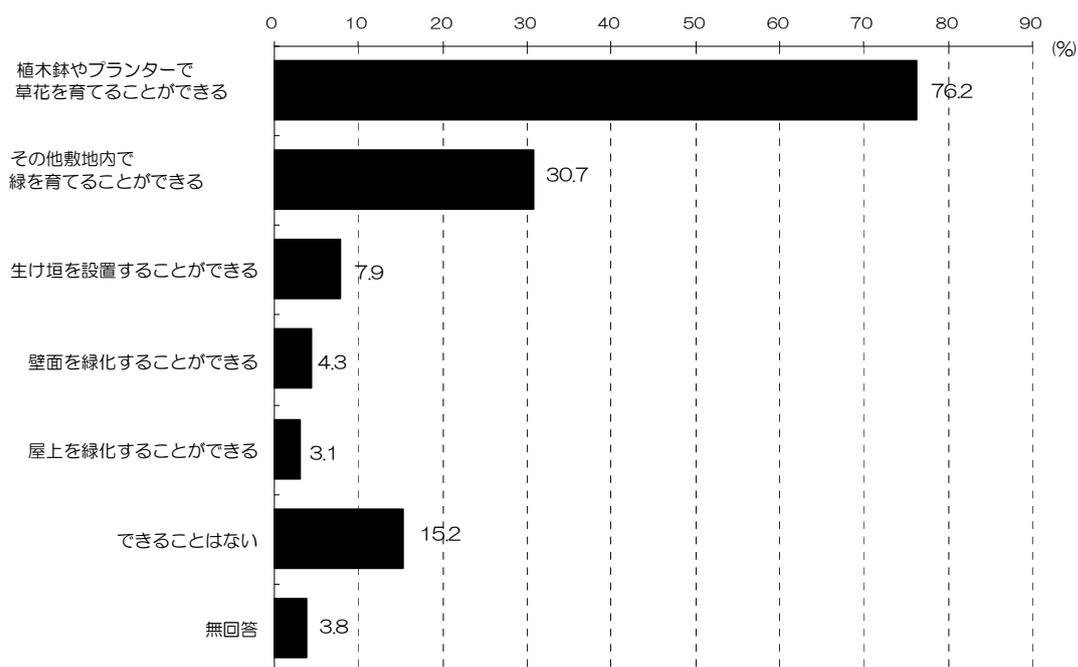


図 25 自宅の緑化で協力できる活動

■公園管理で協力できる活動（n=835：複数回答）

市と市民の共働による緑化や公園づくりを進めるにあたり、「日常のごみ拾いや草取りをすることができる」が4割半ば(43.2%)で最も多い。一方で、「できることはない」も4割をこえる。

[n=835]

公園管理で協力できる活動	回答数	割合(%)
日常のごみ拾いや草取りをすることができる	361	43.2
花壇の手入れをすることができる	118	14.1
遊具などの安全点検をすることができる	94	11.3
植樹帯の草刈りをすることができる	63	7.5
樹木の刈込みや剪定をすることができる	34	4.1
できることはない	359	43.0
(無回答)	49	5.9

表 10 公園管理で協力できる活動

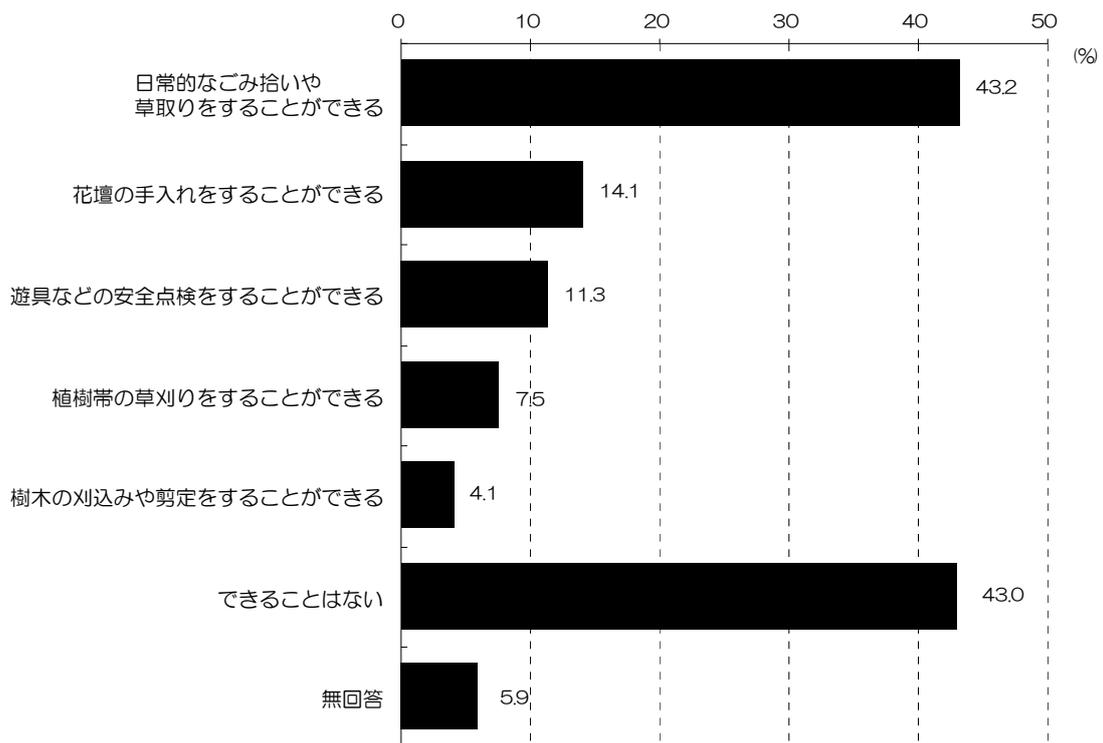


図 26 公園管理で協力できる活動

■ 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

(n=835：3つまで回答)

「公園・広場などの整備・充実」(47.8%)「街路樹の整備・充実」(44.0%)「緑地・樹林地などの保全」(32.8%)「開発、建築計画の際の緑化指導」(30.2%)の順となっている。

[n=835]

緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと	回答数	割合(%)
公園・広場などの整備・充実	399	47.8
街路樹の整備・充実	367	44.0
緑地・樹林地などの保全	274	32.8
開発、建築計画の際の緑化指導	252	30.2
小・中学校での緑化教育と実践活動	219	26.2
公共施設の緑化の推進	214	25.6
農地の保全	165	19.8
地域ぐるみの緑化への援助・指導	150	18.0
緑化に関する講習会などの開催	32	3.8
その他	24	2.9
(無回答)	47	5.6

表 11 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

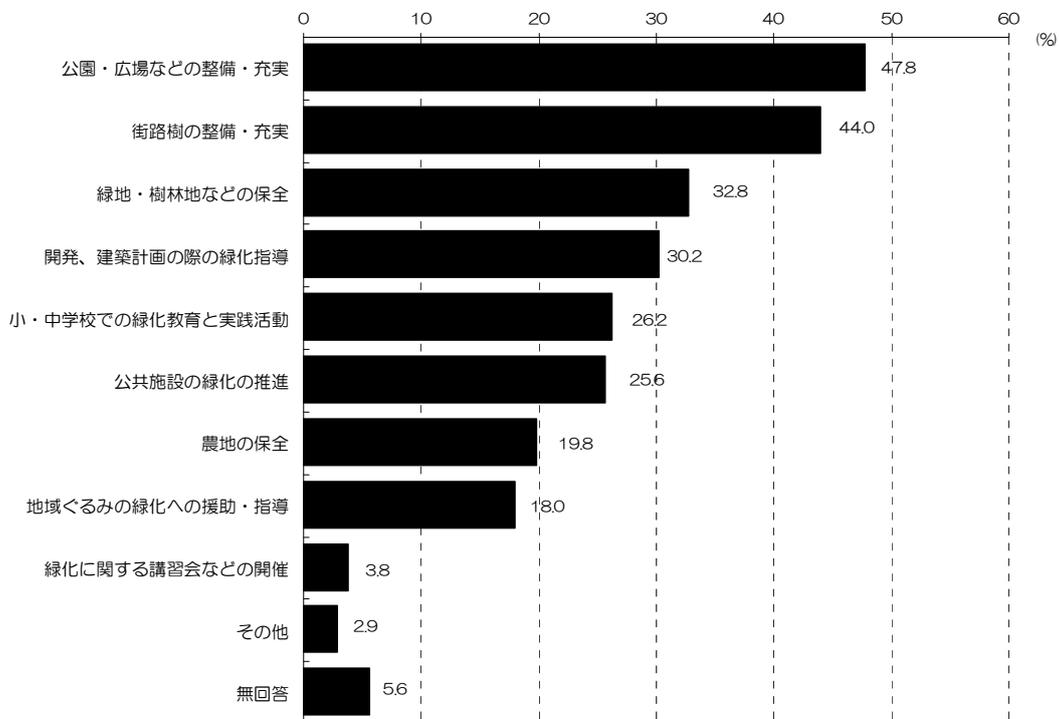


図 27 緑を守り育てていくために府中市が力を入れるべきこと

第 43 回府中市市政世論調査（概要版）

平成 23 年 10 月

発行：府中市政策総務部広報課

東京都府中市宮西町 2-24

Tel 042-366-1711

実施：株式会社 TDS

東京都府中市晴見町二丁目 24-1

Tel 042-352-3330